聖徳学園シリーズコンサート No. 1561

聖徳大学 第9回オペラ公演

W.A.モーツァルト

オペラ「フィガロの結婚」

Le Nozze di Figaro

2012年10月19日(金) 開演18:15 開場17:15

聖徳大学川並香順記念講堂 全指定席 2,000円

(小学生以下のご入場はできません)

主催・お問い合わせ 聖徳大学 047-365-1111

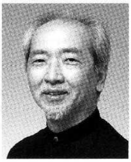
聖徳学園シリーズコンサート　No.1561
聖徳大学 第９回オペラ公演

W.A.モーツァルト作曲

オペラ『フィガロの結婚』

Le Nozze di Figaro

指揮：高橋 大海


演出：十川 稔

照明：矢口 雅敏
美術：升平 香織
舞台監督：賀川 祐之
副指揮：高橋 誠也
　　　　佐藤 宏充
　　　　大井 剛史
合唱指揮：鳥井 俊之

伯爵
高橋 祐樹

伯爵夫人
島崎 智子

スザンナ
宮部 小牧

フィガロ
青戸 知

バルトロ
小野 和彦

マルチェリーナ
栗田 真帆

ケルビーノ
加賀 ひとみ

バジリオ／クルツィオ
志田 雄啓

アントニオ
伊藤 純

バルバリーナ
松本 直子

花娘１
真野 綾子

花娘２
友光 曜子

合唱：聖徳大学音楽学部記念オペラ合唱団
演奏：聖徳大学川並記念オーケストラ
チェンバロ：山口 佳代

制作：島崎 智子　鳥井 俊之　中村 光宏

『フィガロの結婚』あらすじ

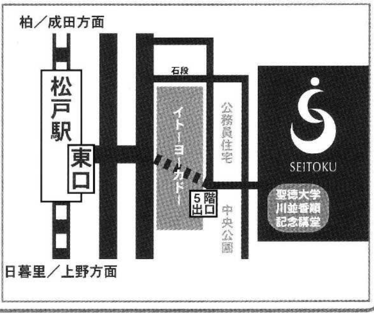
もとは理髪師で今はアルマヴィーヴァ伯爵の召使フィガロは、伯爵夫人の小間使いスザンナと今日結婚式を挙げる事になっている。
伯爵は夫人と結婚する際に、初夜権（領主は、その召使の結婚の際、花婿に代わって初夜を共に出来るという権利）を放棄した程の誠実さはどこへやら。今では、その権利をスザンナに行使したくてたまらない。夫の冷めゆく愛を嘆く夫人は、フィガロ、スザンナと結託して伯爵の鼻を明かそうとたくらむ。恋多き思春期の小姓ケルビーノを女装させて伯爵をおびき出し、浮気現場をおさえようという計画。一方、昔の借金を理由にフィガロとの結婚を企んでいる女中頭のマルチェリーナ。彼女はフィガロに恨みを抱くバルトロを味方につけ裁判を申し立てる。ところが、この２人実は元夫婦。おまけにフィガロが２人の息子であることが発覚。結婚訴訟は親子の感動の再会へ。
思い通りに事が運ばず、面白くない伯爵のもとへ思わせぶりな恋文が届けられる。それは女たちの甘い誘惑の罠。果たして夜の庭で伯爵を待っているのは…

会場案内

交通のご案内

JR／東京メトロ千代田線／京成線　松戸駅東口下車　徒歩５分

イトーヨーカドーの店内エスカレーターをご利用いただけます。（５階出口）



※この公演はアリア以外を日本語で上演いたします。